

クッサン（彫版台）について

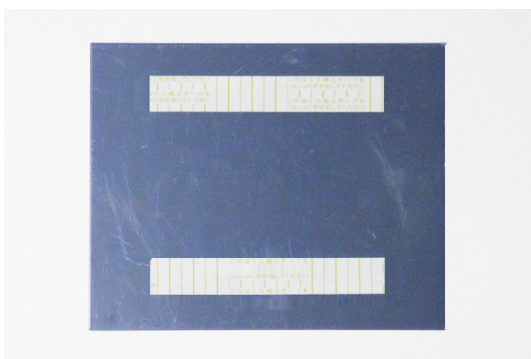


ビュランで銅版を彫る場合、小さな銅版は彫版台を使用する。これはクッサンと呼ばれ、革製で中には砂がぎっしり詰め込まれている。写真左が市販のクッサンで、右は手作りのものである。市販のクッサンの大きさは、上と下の直径が約 140 ミリ、中間の縫い目の部分が約 180 ミリ、そして高さは 50 ミリ程である。自作のものは、桐の板を円く切り取ってその中央を適当に彫り、重くする為に鉛を溶かして流し込んである。その後ベニヤ板を接着し、桐の板の上にはあり合わせの牛皮を両面粘着シートで貼っている。しかし、もっと簡単に厚みのある板でもよいだろう。

大きな銅版の場合は直接作業機の上で彫るか、それ相応の彫版台を作る必要がある。実際、直接作業機の上で彫版をすると彫りくずがじゃまになるので、やはり適当な彫版台が欲しい。高さは自分が彫版し易い高さにするとうい。また、練習をするにしても、長時間作業機に向かわなければならない。それで、照明にも気を遣い遮光枠などを設置して、反射による目の疲労を防ぐ必要がある。

銅版の裏に段ボール紙を貼る

彫版ではどうしても銅版を自在に動かす必要がある。クッサンなどを使用するとしても、銅版に反りがあったりすると銅版を回転する妨げになる。それで自在に動かすには、段ボール紙を銅版の裏に貼って滑りをよくする必要がある。曲線を彫る場合や大きな銅版には特に有効である。その上、銅版に厚みができて扱いやすくなる。彫りの練習においても銅版に段ボール紙を貼ることで、銅版の両面を使用する際、彫り跡でクッサンなどを傷めずにすむ。また、さらに滑りをよくするには、家具を移動する際に使用する「カグスベール」と言う粘着シートを貼ってもよいだろう。



銅版の裏に段ボール紙を貼る

1. 銅版の裏に両面テープを貼る。写真の銅版の大きさと厚みは次の通りである。

121.6 ミリ × 150 ミリ × 1.2 ミリ

(定尺 365 ミリ × 1212 ミリを 24 等分にカット)

銅版は購入した際の保護シールが張られたままである



2. 銅版と段ボール紙を貼り合わせる。銅版は反射を防ぐために、耐水研磨ペーパー #2000 番を軽くかけてくもらせている。



3. 周囲をカッターナイフで切り取る。このように銅版に段ボール紙を貼ることで、回転し易く、また厚みができて扱いやすくなる。尚、練習で裏面を使用する場合は剥がして貼り替える。

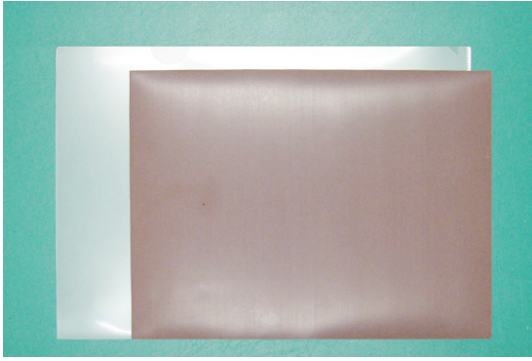


4. 写真はクッサンと段ボール紙を貼り付けた銅版。

銅版の裏に市販のシートを貼る

銅版の裏に段ボール紙を貼ってもスムーズに動かない場合は、市販の家具を移動する際に用いるシートを貼るとよい。それはホームセンターなどで「カグスベール」という商品名で売られている。これは表面がフッ素樹脂の粘着シートで、大きさの異なるものがある。使用に際しては、直接銅版に「カグスベール」を貼ると粘着が強く剥がし難いので、先にクリヤーホルダーなどを貼り合わせてから任意の大きさにカットし、その後両面テープで貼り合わせる。このように一度処理をしておくと幾度も貼り直して使用することができる。

また、銅版が小さい場合は、銅版より一回り大きなものを作り、両面テープで塩化ビニール板及びアクリル板と貼り合わせる。それを両面テープで銅版に貼り重ねると扱いやすくなる。塩化ビニール板とアクリル板の厚みは、強度としなやかさを得るために2ミリが適当である。また、この塩化ビニール板及びアクリル板は、直接「カグスベール」と貼り合わせてもよいだろう。その塩化ビニール板及びアクリル板をカットした後、四隅を荒くノコで切り落とし、ヤスリやサンドペーパーで整える。四隅を大きく丸めることで、作業中に衣服に触れても引っ掛からず、スムーズに動かすことができる。



銅版にカグスベールを貼る

1. 写真はカグスベールとクリヤーホルダー（ポリピロン製）。クリヤーホルダーを切り離し、一枚のシートにしてカグスベールに貼る。

カグスベール 200 ミリ× 270 ミリ

クリヤーホルダー A4 サイズ

220 ミリ× 310 ミリ



2. 写真は、カグスベールをクリヤーホルダーに貼って、使用する銅版の大きさに切り取った状態。この後、両面テープで銅版に重ね合わせる。因みに、これは前出の銅版と同じ大きさ（121.6 ミリ× 150 ミリ）である。



小さな銅版の場合

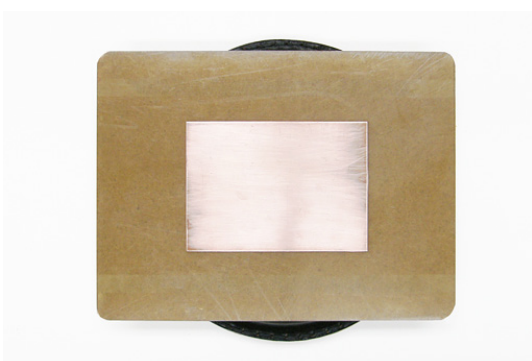
1. 銅版が小さい場合は、扱いやすいように一回り大きな支持体にする。それには塩化ビニール板及びアクリル板に、カグスベールを貼る。写真は2ミリ厚の塩化ビニール板とカグスベール。

塩化ビニール板 200 ミリ× 300 ミリ

カグスベール 200 ミリ× 270 ミリ



2. 任意の大きさに塩化ビニール板をカットする。その後、四隅を大きく丸め、切り口にはサンドペーパーをかける。そしてカグスベールを貼り合わせ、塩化ビニール板に沿って切り落とす。このように四隅を丸めることで扱いやすくなる。写真はカグスベールに塩化ビニール板を貼り合わせた状態。



3. 支持体に小さな銅版を両面テープで貼り合わせた状態。このように小さな銅版は支持体を用いることで扱いやすくなる。そして、銅版の隅も彫りやすくなる。写真のクッサンの上の支持体と銅版の大きさは次の通りである。

支持体 150 ミリ× 200 ミリ

銅版 80 ミリ× 100 ミリ